

奥山正司教授年譜ならびに著書目録

【年 譜】

- 1965 年 3 月 山形県立新庄北高等学校卒業
- 1969 年 3 月 中央大学文学部卒業
- 1972 年 3 月 成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻修士課程修了（文学修士）
- 1977 年 3 月 同 大学院文学研究科日本常民文化専攻博士後期課程単位取得満期退学
- 1993 年 3 月 一橋大学 大学院社会学研究科社会問題・政策専攻博士後期課程単位取得満期退学
- 2013 年 12 月 東洋大学学位論文提出 博士（社会福祉学）

職 歴

- 1972 年 4 月 東京都老人総合研究所入所（現 東京都健康長寿医療センター・研究所）（研究助手、～1977. 3）
- 1977 年 4 月 東京都老人総合研究所福祉医療研究室研究員（～1989. 3）
- 1988 年 4 月 デューク大学（米国）加齢・人間発達研究センター客員主任研究員（～1989. 3）
- 1989 年 4 月 東京都老人総合研究所社会学・社会医学研究系保健社会学部門主任研究員（～1995. 3）
- 1995 年 4 月 十文字学園女子大学設立準備室及び十文字学園女子短期大学家政学科生活学専攻教授（～1996. 3）
- 1996 年 4 月 同 大学社会情報学部教授（～2000. 3）

本学経歴

- 2000 年 4 月 東京経済大学 現代法学部教授（～2017. 3）

2004 年 4 月	同	出題委員長（～2006. 3）
2006 年 4 月	同	大学院現代法学研究科委員長（～2008. 3）
2010 年 4 月	同	図書館長（～2012. 3）
”	同	史料委員会委員長（～2012. 3）
2011 年 6 月	学校法人東京経済大学	評議員（～2014. 5）
”	同	評議員会副議長（～2014. 5）
2011 年 7 月	東京経済大学	学長候補者推薦委員会委員長（～2011. 12）
2014 年 4 月	東京経済大学	教員資格審査委員会委員長（～2016. 3）
”	同	教職員評議員選挙管理委員会委員長 （～2014. 5）
2017 年 3 月	同	定年退職
2017 年 4 月	東京経済大学名誉教授授与	

以下の大学・大学院及び看護専門学校で非常勤講師を務めた。

お茶の水女子大学、早稲田大学、法政大学、日本大学、獨協大学、駒澤大学、東邦大学、十文字学園女子大学、放送大学、武蔵大学大学院、淑徳大学大学院、東洋大学大学院、都立板橋看護専門学校、都立荏原看護専門学校、都立公衆衛生専門学校

所属学会（役職名は省略）

日本老年社会科学会

日本社会学会

日本社会福祉学会

日本地域福祉学会

家族問題研究会

日本村落研究学会

日本地域社会学会

福祉社会学会

米国老年学会（The Gerontological Society of America）

主な社会活動

総務庁長官官房老人対策室・「老人の生活と意識」（第3回国際比較調査協力委員及び論文執筆）

同上（第4回国際比較調査協力委員及び論文執筆）

農林水産省・農山漁村の高齢者に関する中長期ビジョン懇談会（委員）

農林水産省・平成10年度農山漁村高齢者対策優良活動地域表彰中央審査会（審査委員長）

労働科学研究所「在宅介護支援センターの活動実態と地域ネットワークに関する研究」（研究委員長）

厚生省・長寿社会開発センター・高齢者に関するプロジェクト研究（主査）

農林水産省・農山漁村いきいきシニア活動表彰（審査委員長、5年間）

農村生活総合研究センター（外部研究委員）

東京都東久留米市介護保険運営協議会（委員長、現在に至る）

東京都国分寺市東元町高齢者複合施設建設検討委員会（委員長）

東京都消費者生活調査（委員）

【著 作 目 録】

1. 著書

2009 年

『大都市における高齢者の生活』法政大学出版局

2. 共編著

1988 年

奥山正司・浅野仁監修『老いを生きる』（事例にみる主体的高齢者群像）（第1巻）
思索社

浅野仁・奥山正司監修『老いを生きる』（事例にみる高齢者の保健・福祉サービス）
（第2巻）思索社

3. 著書

1981 年

「第 3 章 農家高齢者の就労と家族生活」副田義也編『老年社会学（Ⅱ）』（老後問題論）垣内出版、(401-426)

1982 年

「地域社会の変貌と都市化」高尾公矢、島村忠義、田中和子、奥山正司他、共編著『教養の社会学』川島書店、113-134

1983 年

「家族」曾田長宗・三浦文夫編『図説老人白書』碩文社、96-109

1987 年

「家族」三浦文夫編。『図説高齢者白書』全国社会福祉協議会、50-57

1988 年

「家族」三浦文夫編。『図説高齢者白書』全国社会福祉協議会、32-39

1989 年

「家族」三浦文夫編。『図説高齢者白書』全国社会福祉協議会、32-39

「家族」三浦文夫編『図説高齢者白書』全国社会福祉協議会、(32-39)

「高齢者に対する認識およびネガティブ・バイアス・スコア、ポジティブ・バイアス・スコアについて」(60-74)『総務庁長官官房老人対策室編長寿社会における男女別の意識』大蔵省印刷局

1990 年

「老年期のソーシャル・サポート」無藤隆・高橋恵子・田島信元編『発達心理学入門（Ⅱ）』（青年・成人・老人）東京大学出版会、133-148

「高齢者の生活実態—地域と家族をとおして—」塚本哲人編『高齢者教育の構想と展開』（実践社会教育シリーズ）全日本社会教育連合会、(31-49)

「家族」三浦文夫編『図説高齢者白書』（1990）全国社会福祉協議会、34-41

「家族成員の福祉的課題と地域社会での問題解決の方途—高齢者を中心にして」国際社会福祉協議会、日本国委員会編『地域開発の人的側面—その創造的対応』（第 25 回国際社会福祉協議会論文集）国際社会福祉協議会 23-32

「農村における高齢化と農家高齢者の生活」日本村落社会学会編『村落社会研究』第 26 集 農山漁村文化協会、67-111

1991 年

「家族」三浦文夫編『図説高齢者白書』全国社会福祉協議会、32-39

「多摩の高齢者福祉」東京経済大学多摩学研究会編『多摩学のすすめⅠ』（新しい地域科学の創造）、けやき出版、48-62

「家族生活」総理府老人対策室『高齢者の生活と意識』（第3回国際比較調査結果報告論文集）73-116

1992 年

「家族」三浦文夫編『図説高齢者白書』（1992）全国社会福祉協議会、34-41

「高まる定年制の普及率」宮田登・中村桂子編『高まる定年制の普及率。『老いと生—隔離と再生—』藤原書店、342-343

1993 年

「農村高齢者の生活と地域福祉」青井和夫監修・三浦文夫編『社会福祉の現代的課題—地域・高齢化・福祉—（ライブラリー 社会学9巻）』サイエンス社、102-119

「家族」三浦文夫編『図説高齢者白書』（1993）全国社会福祉協議会、42-49

「大都市高齢者の家族生活と住居」日本住宅会議編『住宅白書』1994年版、ドメス出版、62-65

1994 年

「家族」三浦文夫編『高齢者白書』1994、全国社会福祉協議会、44-51

「大都市における高齢者の生活」『高齢化社会への対応』高文堂出版、35-53

1995 年

「家族の変貌と老後生活」一番ヶ瀬康子・仲村優一他 監修、小笠原祐次編『老人福祉論』（「テキスト介護福祉」）ミネルヴァ書房、16-35

「家族」三浦文夫編『図説高齢者白書 1995』全国国社会福協議会、44-51

1996 年

「家族」三浦文夫編『図説高齢者白書 1996』全国国社会福協議会、44-51

1997 年

「家族」三浦文夫編『図説高齢者白書 1997』全国国社会福協議会、44-51

「転入高齢者の生活と同居子との社会関係」熊谷文枝編著『日本の家族と地域性（下）（家族社会学研究シリーズ③）』ミネルヴァ書房、熊谷文枝編著、21-47

「家族生活」総務庁長官官房高齢社会対策室監修『高齢者の生活と意識』（第4回国際比較調査結果報告論文集）72-119

1999 年

「エイジズム—高齢者へのステレオタイプ—」岡隆・佐藤達哉・池上知子編『現代のエスプリ（偏見とステレオタイプの心理学）』至文堂、109-118

2000 年

「高齢期家族の機能と高齢者の家事役割」染谷淑子編『老いと家族—変貌する高齢者と家族—シリーズ家族は今—（3）』ミネルヴァ書房、50-77

2001 年

「家族の変貌と老後生活」一番ヶ瀬泰子・上田敏・北川隆吉・仲村優一監修、小笠原祐次編『新・セミナー介護福祉2・老人福祉論』ミネルヴァ書房、16-38

2002 年

「高齢者の生活と家族」小笠原祐次・橋本泰子・浅野仁編『高齢者福祉（新版）（これから社会福祉）』有斐閣、21-39

2003 年

「家族の変貌と老後生活」『新版社会福祉養成講座2・老人福祉論』中央法規出版、16-35

2004 年

「高齢者家族の変化」袖井孝子編著『少子化社会の家族と福祉』ミネルヴァ書房、26-39

2005 年

「高齢者福祉サービスの現状」（4章）西下彰俊・浅野仁・大和三重編著『高齢者福祉論』川島書店、73-97

2007 年

「家族の変貌と高齢者の介護問題」一番ヶ瀬康子・上田敏・北川隆吉・仲村優一監修、新・セミナー介護福祉2小笠原祐次編『老人福祉論』（三訂版）ミネルヴァ書房、16-38

「高齢者の居住世帯と家族の介護問題」福祉士養成講座編集委員会編、新版社会福祉士養成講座2『老人福祉論』中央法規出版、47-57

2014 年

「生活と福祉」石川久展、所道彦編『社会の理解』（改訂版、介護福祉士養成テキストブック）ミネルヴァ書房 2014 年、1-30

4. 学術論文

1975 年

「農村老人の実態」東京都老人総合研究所編『社会老年学』創刊号、東京大学出版会、37-48

「老人ホーム職員の福祉労働に関する調査（11）」、老人生活研究所編『老人生活研究』No. 54、55-61

「老人ホーム職員の福祉労働に関する調査（12）」、老人生活研究所編『老人生活研究』No. 55、44-51

「老人ホーム職員の福祉労働に関する調査（13）」、老人生活研究所編『老人生活研究』No. 56、39-45

1977 年

「不安定就業階層の老後問題」東京大学出版会『社会老年学』No. 6、61-91（共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：佐藤嘉夫、奥山正司）

「老人ホームにおける宿・夜勤実態と問題点（5）」、老人生活研究所編『老人生活研究』No. 71、56-61

「老人ホームにおける宿・夜勤実態と問題点（6）」老人生活研究所編『老人生活研究』No. 72、52-57

1978 年

「農村における高齢者の就労と家族生活」、年金保養協会『しにあらいふ』10 号、44-49

「農業の変貌と老人の生活問題」日本農村生活研究会編『農村生活研究』21 巻 1 号、37-40

1979 年

「老人と余暇活動」年金保養協会『しにあらいふ』15 号、4-8

「都市貧困老人の家族生活史の分析」東京大学出版会『社会老年学』No. 10、23-35

「農家高齢者の就労と農業者年金」日本老年科学会編『老年社会科学』創刊号、66-

77

1980 年

「家族とは」、医学書院『病院』39 巻 11 号、964-965

「老人家族研究の方法と動向」医学書院『病院』39 巻 12 号、1056-1057

1981 年

「老親扶養と居住形態」医学書院『病院』40 巻 1 号、64-65

「家族周期研究と老年期」医学書院『病院』40 巻 2 号、152-153

「大都市青壮年の老人扶養意識」医学書院『病院』40 巻 3 号、240-241

「過疎地の老人と家族」医学書院『病院』40 巻 4 号、324-325

1982 年

「農村老人の引退過程、東京大学出版会『社会老年学』No. 15、37-48

「高齢者の生活構造とその実態」医学書院『理学療法と作業療法』16 巻 6 号、419-424

1983 年

「中高年女性の生活と老後不安—配偶関係による分析—」東京大学出版会『社会老年学』No. 17、3-20

「三世代的女性における老化、自立志向、老親扶養責任、性役割に対する態度の研究—特集への序論—」東京大学出版会『社会老年学』No. 18、3-10

1984 年

「家族の変化と高齢者の位置—人口高齢化を通して」国民生活センター『国民生活』Vol. 14 No. 2、12-21

「老年期における家族形態—その推移と実態—」日本老年社会学会編『老年社会科学』（特集家族の老年学）Vol. 6 No. 115-36

「三世代女性研究の目的と方法」、および「私的扶養、公的扶養に対する選好度」寿命学研究会『ライフスパン』Vol. 4、3-7、21-29

1985 年

「在宅痴呆老人への家族的援助とショートステイサービス」東京大学出版会編『季刊社会保障研究 Vol. 21 No. 2、分担執筆（180-191）。共著者：奥山正司、西下彰俊。

「中国のデモグラフィックな状況と老齡保障」東京都老人総合研究所『老人総合研究

情報』3-8

「老化と健康に関する調査研究—高齢者の生活様式と社会参加」総合研究開発機構
(NIRA)『老化と健康に関する研究』382-411

1986 年。

「高齢化農村社会への対応方向」富民協会／毎日新聞社『農業と経済（別冊）』（特集
ビジョン 21 世紀日本農業—農水省若手官僚と研究者が描く—）155-161

「高齢者の社会参加とコミュニティづくり」東京大学出版会『社会老年学』No. 24、
67-82

1987 年

「地域的な差異からみた農村の人口高齢化と農村高齢者」総務庁老人対策室『高齢者
と地域社会』

「特集：都市老人の社会的相互作用」（「調査研究の目的と対象」）『社会老年学』
No. 26、29-31

「大都市における老親とその子供にみる同別居意向」東京大学出版会『社会老年学』
No. 26、32-42

「農村高齢者の社会参加とコミュニティづくり」総務庁老人対策室『高齢者と地域社
会』129-163

「老人ホームの供給動向とショートステイ・サービス利用者からみた社会資源」全
国社会福祉協議会『老人福祉』No. 77、42-48

1988 年

「高齢者の社会参加とコミュニティづくり」財団法人公園緑地管理財団『公園の管
理』No. 3、18-21

1989 年

「老年期のソーシャル・サポート—大都市・老夫婦のみ世帯の高齢女性をととして
—」日本大学社会学会編『社会学論叢』No. 107、共著者：中村利昌、奥山正
司（全文 1-29 頁：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

「多様な高齢者の生活と福祉サービス—データにみる一側面—」、日本女子社会教育
会家庭科学研究所『家庭科学』56 巻 1 号、26-32

1990 年

「東京都における中年期男子の保健行動の地域比較—健康不調への対処について—」、

日本公衆衛生雑誌 Vol. 37 No. 1、全文 9-20 頁中、担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：杉澤秀博、手島陸久、朝倉木綿子、奥山正司、前田大作。

1991 年

「東京都における中年期男子の主観的健康とその関連要因に関する研究—低死亡率地域と高死亡率地域の比較から—」日本公衆衛生雑誌 Vol. 38 No. 5、全文 333-343 頁中、担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：朝倉木綿子、奥山正司、手島陸久、杉澤秀博、前田大作。

「高齢者の生活時間・社会参加と定年退職後の地域・家庭生活」、法政大学大原社会問題研究所（法政大学出版局）『大原社会問題研究所雑誌』395 号、34-49

「ナーシングホームにおける老人の入所期間及び退所時の予後予測の要因に関する研究—米国・ノースカロライナ州における調査研究から—」、社会保障研究所編『海外社会保障情報』第 96 号、50-60

1992 年

Positive and Negative Bias towards Aging in Japan. 4th International Conference on Systems Science in Health-Social Services for the Elderly and the Disabled, Vol. 1、77-83

「大都市における老夫婦のみの世帯の追跡研究」、東京大学出版会『社会老年学』No. 36、27-38

1993 年

「老人の国際比較研究の意義と問題点」成城大学大学院文学研究科コミュニケーション専攻編『コミュニケーション紀要』第 7 輯、199-211

Elderly Attitudes toward the Relationship between Parents and Child or Grandchildren; International Comparative Survey on Life and Opinions of the Elderly, Edited by E. Berfagl, I. A. Gergry, K. Rajczl, RECENT ADVANCES IN AGING SCIENCE, (the xvth Congress of the Interational Association of Gerontology, Budapest, Hungary) 2085-2088

1994 年

「専門職を退職した高齢者研修所の歴史的背景と現状米国・ニューヨークの事例」『月刊福祉』77 巻 7 号、110-113

「脳血管障害患者の家族による通所施設利用意向に関する要因」、東京大学出版会『社会老年学』No. 39 全文 42-49 頁中、担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：西田真寿美、杉澤秀博、奥山正司、高梨馨。

「高齢者に対する子供からの保健・介護的支援に関連する社会的要因」、東京大学出版会『社会老年学』No. 39、全文 50-56 頁中、担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：高梨薫、杉澤秀博、奥山正司

「東京都における中年期男子の保健行動の地域比較」『日本公衆衛生雑誌』Vol. 41 No. 11、全文 1033-1043 頁中、担当：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。共著者：杉澤秀博、奥山正司、柴田博

「専門職を退職した高齢者たちの研修所—アメリカ・ニューヨーク・IRP の事例—」『The Community Care』1994. 11、30-33

1995 年

「高齢女性の生きがい活動」農村生活総合センター『農村高齢者の農業事情』71-78

「脳血管疾患患者と家族の保健福祉的支援機能—都内 3 病院の退院患者と介護者の追跡調査から—」、医学書院『公衆衛生』Vol. 59 No. 10、担当：共同研究により本人担当部分抽出不可能。(706-710)。共著者：奥山正司、杉澤秀博、高梨薫、西田真寿美。

「在宅高齢者ケア総合調査研究 (3) —転入高齢者の生活と同居子及び隣居子との社会関係—」『東京経済大学学会誌』No. 194、61-76

1996 年

「高齢在宅サービス利用者・待機者の被災後の生活状況」、全国社会福祉協議会『月刊福祉』Vol. 79 No. 1、28-31

「老人保健事業についての高齢者の認知度に関連する社会的要因」杉澤秀博、高梨薫、柴田博、奥山正司、『日本公衆衛生雑誌』Vol. 43 No. 8

「大都市圏における子ども・孫・親戚とのネットワーク—ひとり暮らし高齢者及び夫婦のみ世帯の高齢者を通して—」東京経済大学現代法学会編集『現代法学』11 号

1998 年

「介護保険制度と市町村の対応—その問題点と提言—」日本離党センター『しま』No. 173、17-28

「日本における高齢者の家族・親族からのサポート意識—国際比較研究の意義と問題点—」、十文字学園女子大学「社会情報論叢」創刊号、1-19

「高齢在宅サービス利用者及び待機者の被災6ヶ月後の生活状況—阪神・淡路大震災における長田区施設利用者調査より—」『十文字学園 高齢社会生活研究所紀要』創刊号、Vol. 1、11-30

「農村直系家族における生活の共同度・分離度と後継者妻の老親扶養問題」『ジェロントロジー研究報告』No. 3、146-151

2000 年

「在宅サービス利用高齢者の被災6ヶ月後の生活状況と課題—阪神・淡路大震災における長田区調査より—」『東京経済大学学会誌』217号、11-25

2002 年

「家族介護者の介護負担及び介護規範意識に関する日韓比較研究—東京都及びソウル市における要介護高齢者の調査研究を通して—」東京経済大学現代法学会編集『現代法学』第3号、105-125

2004 年

「単身高齢者の社会経済的生活と家族の支援サービス」『老年精神医学雑誌』Vol. 15 No. 2、169-179

「デンマークにみる高齢者の生活支援にかかわる制度と生活」(澤度夏代ブラント、古松弥生、横田京との共同執筆)『十文字学園女子大学高齢社会研究所紀要』Vol. 6、45-95

「農家高齢者の就労と農業者年金」日本老年科学会編『老年社会科学』創刊号、66-77

2005 年

「介護保険制度下における農村の高齢者介護」東京経済大学現代法学会編『現代法学』第9号、55-90

「日本の年金制度の現状と課題—デンマークの生活に学ぶ—」(澤度夏代ブラント、古松弥生、横田京との共同執筆)『十文字学園女子大学高齢社会研究所紀要』Vol. 7、31-55

2006 年

「大都市圏における子ども・孫・親戚とのサポートネットワーク：ひとり暮らし高齢

者及び夫婦のみの世帯の高齢者を対象として」東京経済大学現代法学会編『現代法学』第 11 号、35-67

2007 年

「Elderly Parents Attitudes toward the Relationship with their Children: An International Comparative Study」東京経済大学現代法学会編、現代法学』第 12 号、121-131

2008 年

「デンマークにおける高齢者の生活と社会活動及び親族関係—自立した高齢者のケース スタディを中心として—」『十文字学園女子大学高齢社会研究所紀要』Vol. 10、23-38（古松弥生、横田京、澤度夏代プラントとの共同執筆）

2009 年

「デンマーク人の生きかたと高齢者福祉」国際長寿センター / ジャーナル vol. 11、共著者：菅原國恭、12-17

「一人暮らし高齢者の増加と高齢者の社会経済的生活」Dia News（ダイヤモンド）No. 59、3-10

2010 年

「Farmers' Successors and the Immigration of Female Asian Spouses in Rural Japan」東京経済大学現代法学会編『現代法学』第 19 号、123-137

「大都市における一人暮らし高齢者と家族的支援及び地域的支援—高齢者のみ世帯の増加を背景として—」国土計画協会『人と国土 21』36 巻 3 号、18-22

2012 年

「Married Women's Attitudes toward Their Elderly Parent Support in the Rural Japan」東京経済大学現代法学会編『現代法学』（東京経済大学）第 22 号、1-15

「大都市における高齢者の家族変動をめぐって—モデルとしての夫婦制家族へ—」日本老年社会科学会編『老年社会科学』Vol. 34 No. 1、57-63

2013 年

『高齢者家族の福祉社会学的研究』博士論文（社会福祉学、東洋大学）2013 年

「韓国における高齢者の社会参加活動」『十文字学園女子大学 コルヌイエ』

2014 年

「韓国における高齢者の社会参加活動」『十文字学園女子大学 コルヌイエ』20-36

2015 年

「高齢者家族の福祉社会学的研究—直系家族制から夫婦家族制への視座をふまえて—」東京経済大学現代法学会編『現代法学』第 28 号、11-29

2016 年

「日本独居老人の増加及老人人の社会经济生活——从家族形态变化和收入结构观察（「日本における高齢化の状況と後期高齢者及び一人暮らし高齢者の生活問題」）『社会保障研究』（中国人民大学）2 卷、42-54

「デンマークの福祉文化と高齢者の社会参加活動—ソウル市における事例との比較を通して—」東京経済大学現代法学会編『現代法学』（東京経済大学）第 30 号、319-341

「一人暮らし高齢者世帯の急増と社会福祉・社会保障」『家族社会学研究』（巻頭言エッセイ）

5. 報告書

1973 年

「老人家族調査—同居・別居を中心として（報告書）」東京都老人総合研究所

「老人ホーム職員の福祉労働に関する調査・中間報告（報告書）」東京都老人総合研究所

1976 年

「『地域老人福祉の社会的基底と展開』：「地域社会の動態と社会的貧困の構造」東京都老人総合研究所

「社会変動に対応する地域福祉のあり方（報告書）」：「第 4 章 働く老人の暮らしと課題」全国社会福祉協議会

1980 年

「都市青壮年の老人扶養意識に関する研究（報告書）」：「4 章 老人の同居扶養意識」東京都老人総合研究所

1981 年

「中高年労働者の労働と生活—中小零細事業所における実態調査—」：「5 章 世帯・

- 住居の状況、7章 年金の状況と老後生活の見通し」東京都老人総合研究所
「過疎地域問題調査報告書（過疎地域における高齢者問題に関する調査研究）」財団
法人過疎地域問題調査会
- 「近郊農村の共同性の変化」：「第4部 農家老人の共同性」農村生活研究センター
- 1982年
- 「中高年女性の生活と老後」：「4章 友人・親族ネットワーク」東京都老人総合研究
所
- 「栃木県の老人の生活と意識（栃木県老人福祉総合調査報告書）」：「3章 家族生活の
状況、4章 健康状態と医療に関する意識」栃木県高齢者問題研究会
- 「東京都養育院利用者実態調査報告書（昭和56年度）」：第2編 第1章第4節～6
節、第2章第4節～第6節を分担執筆 東京都養育院
- 1983年
- 「高齢者の社会参加とコミュニティづくり（高齢者問題調査研究会中間報告）」：「高
齢者の社会参加とコミュニティ」財団法人あしたの日本を創る協会
- 「運営管理と処遇の実態」『老人ホーム職員の職務と定着に関する意識調査（報告
書）』「部3章 調査対象の家族的背景、部5章 運営管理と処遇の実態」東京都
老人総合研究所
- 1984年
- 『高齢者問題調査研究会中間報告』「高齢者の社会参加とコミュニティづくり」：「第
3章 東京都東久留米市・高齢化社会を自分の問題として考える会の活動」「第
6章 熊本県鹿北シルバー会議の活動」あしたの日本を創る協会
- 1985年
- 『高齢者の社会参加とコミュニティづくり』『一石会のコミュニティづくり』および
「くるめむら構想の実現へ」あしたの日本を創る協会
- 1986年
- 『総合福祉システムの構築にむけて―（研究報告概要）』「総合福祉システムにおける
サービス供給体制と郵便局の役割」郵政省簡易保険郵便年金に関する調査研究
会（郵政省簡易保険局）
- 1987年
- 『福祉サービスの選好に関する調査研究』「地域特性からみた福祉選好ニーズ」郵政

省簡易保険局簡易保険郵便年金に関する調査研究会・総合福祉システム部会
『高齢者の生活についての各歳ならびに時系列分析報告書』：「家族関係」老人福祉開
発センター

『総合福祉システムにおけるサービス供給体制と郵便局の役割』「老人福祉に関する
地域特性と総合福祉システムとのかかわりー山形県山形市・朝日町の事例ー」
郵政省簡易保険局簡易保険郵便年金に関する調査研究会・総合福祉システム部
会

1988 年

「老人の社会参加に関する調査結果」総務庁長官官房老人対策室

1989 年

『山村地域における高齢化に対応した振興方策に関する調査』「過疎山村の高齢化と
一人暮らし老人のケース・スタディ」農村生活総合研究センター

「海外研修報告」『老人総合研究情報』(No. 113)

1991 年

「家族の変化と高齢者」『長寿社会とくらし』（平成 3 年度消費者通信教育講座）東
京都文京区

「在宅福祉サービスの現状と今後の指針」『豊かな長寿社会を構築するために一活力
ある長寿社会に向けて』（全国一斉点検調査報告書）あしたの日本を創る協会

「高年齢従業員の意識調査」：「5 住宅・家族状況」「6 老後生活のありかた」『外的要
因等による地域労働市場の急激な変化と高年齢労働者雇用問題に関する調査研
究報告書』財団法人高年齢者雇用開発協会

1992 年

「現在の生活状況」『外的要因等による地域労働市場の急激な変化と高年齢労働者雇
用問題に関する調査研究報告書』財団法人高年齢雇用開発協会

1994 年

「社会参加活動についての実態と意識」『高齢者の地域社会への参加に関する調査結
果報告書』総務庁長官官房老人対策室、介護者についての調査結果

『脳血管疾患患者および家族の生活と健康に関する縦断的研究』東京都老人総合研究
所

「農村型」介護・福祉サービスの供給システムに関する研究報告書労働科学研究所

高齢者農業の条件整備のあり方を探る 農村生活総合研究センター

1997 年

「農村型」高齢者介護・福祉を支える地域医療のあり方に関する研究報告書 労働科学研究所

1998 年

老人保健・福祉サービスの地域格差 農村生活総合研究センター

1999 年

在宅介護支援センターの地域ネットワークの形成等に関する調査研究報告書 労働科学研究所

2006 年

「大都市圏における老親の子どものネットワークについて——人暮らし高齢者及び夫婦のみ世帯高齢者を対象とした 1 年後の追跡研究——」『平成 17 年度高齢者日常生活継続調査研究報告書』国際長寿センター

2007 年

「大都市圏における老親の子どものネットワークについて——人暮らし高齢者及び夫婦のみ世帯高齢者を対象とした 2 年後の追跡研究——」『平成 18 年度高齢者日常生活継続調査研究報告書』国際長寿センター

2008 年

「大都市圏における老親の子どもとのネットワークについて」国際長寿センター (ILC) 『平成 19 年度高齢者日常生活継続調査研究報告書』

2009 年

「高齢者夫婦世帯における家族役割と子ども・孫・親戚とのサポートネットワーク」国際長寿センター (ILC) 『平成 20 年度高齢者日常生活継続調査研究報告書』

6. 学会発表、国際シンポジウムなど

1973 年

「同居・別居にみる意識の相違」第 15 回日本老年社会科学会

1974 年

「老人ホーム職員の福祉労働に関する研究 (1)」第 22 回日本社会福祉学会

1976 年

「老人ホーム職員の福祉労働に関する研究（2）」第 24 回日本社会福祉学会

「農業の変貌と老人の生活問題」第 24 回日本農村生活研究会シンポジウム（シンポジスト）

1977 年

「都市貧困層の老後問題の一考察」第 50 回日本社会福祉学会

1978 年

「老人を扶養する世代」第 51 回日本社会学会

「都市老人の家族関係と地域生活」第 20 回日本老年社会科学会

1979 年

「老人家族研究の方法と動向」第 21 回日本老年社会科学会

1980 年

「中高年婦人労働者の就労と家族生活」第 22 回日本老年社会科学会

1981 年

「A Study of the Attitude toward Old People and the Sense of the Responsibility for the Old Parents」The 12th International Congress of Gerontology（西ドイツ、ハンブルグ市）

「中高年女性の生活と老後」第 54 回日本社会学会

1982 年

「扶養に関する三世代比較研究」第 55 回日本社会学会

「老人福祉関係職員の確保・定着に関する研究」第 30 回日本社会福祉学会

「公的サービス及び親族扶養に対する態度についての研究—三世代の女性の比較及び日米比較（1）」第 24 回日本老年社会科学会

1983 年

「The Changing Family System」The 2nd Regional Congress of the International Association of Gerontology Asia / Oceania Region

「扶養意識に関する三世代女性の比較研究（1）」第 25 回日本老年社会科学会

1984 年

「痴呆性老人に対する家族の援助とショートステイ・サービス」第 26 回日本老年社会科学会

「痴呆老人短期保護事業利用者のケース・スタディ」第32回日本社会福祉学会
1985年

「痴呆老人への家族的援助とショートステイ・サービス」第324回家族問題研究会
(学会)

「Preference for Service Providers in Old Age among Women of Three
Generations」The 13th International Congress of Gerontology (米国、ニ
ューヨーク市)

1986年

「老夫婦世帯の形成過程と老親子関係」第28回日本老年社会科学会

「老人の家族規範意識に関する研究」第28回日本老年社会科学会

「老親夫婦世帯とその子供世帯にみる生活状況と同・別居意向」第59回日本社会学
会

「老夫婦世帯と社会福祉サービス」第34回日本社会福祉学会

1987年

「Opinions of Urban Elderly Women and Their Children about Their Living
Arrangements in Japan」International Congress of Gerontology (タイ、バ
ンコック市)

1989年

「Living Arrangements in Urban Japan」The 14th International Congress of
Gerontology (メキシコ、アカプルコ市)

「Utilization of the Social Welfare Service System by Japanese Elderly Couples」
The 14th International Congress of Gerontology (メキシコ、アカプルコ市)

「農村における高齢化の現状と農家高齢者の生活」第37回村落社会研究大会・課題
報告

「老人及び高齢化社会に対する認識、P・B・S, N・B・Sについて」第31回日本老
年社会科学会

1990年

「大都市における老夫婦のみ世帯の追跡研究—4年後の生活の変化—」第32回日本
老年社会科学会

1991 年

「Positive and Negative Bias towards Aging in Japan」4th International Conference Systed 91on Systems Science in Health Services for the Elderly and the Disabled (イタリア、バルセロナ市)

「Socio-Demographic Changes among Japanese Urban Elderly Couples: A Follow up Study」The 4th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology (横浜市)

「老人の生活と意識 (第3回国際比較調査報告書—研究の意義と問題点—)」家族問題研究会 (学会)

1992 年

「老人の国際比較研究の意義と問題点」第34回日本老年社会科学会

「リハビリテーションを終了した脳卒中患者・家族の追跡研究 (1) —退院後2か月時点での患者の現況—」第34回日本老年社会科学会

「リハビリテーションを終了した脳卒中患者・家族の追跡研究 (2) —退院後2か月時点での介護者の現況—」第34回日本老年社会科学会

「高齢者をとりまく家族の変化」日本建築学会・高齢社会環境整備特別研究委員会・シンポジウム『高齢社会像をさぐる』(シンポジスト)

1993 年

「Elderly Attitude toward the Relationship between Parents and Child or Grandchildren: International Comparative Survey on Life and Opinion of Elderly」The 15th Congress of the International Association of Gerontology (ハンガリー、ブタペスト市)

「高齢者の健康に寄与する家族の保健・介護的支援機能—大都市・農村の比較研究—」第35回日本老年社会科学会

「高齢者の保健・介護的支援と家族意識」35回日本老年社会科学会

「Trends and Preferences in Japanese Living Arrangements」The Gerontological Society of America (米国老年学会シンポジウム、ニューオリンズ市)

1994 年

「42. 脳血管疾患患者の家族による保健福祉サービスの利用に関する縦断的研究」

第 36 回日本老年社会科学会

「脳血管疾患患者の介護支援態勢及び介護者の社会活動性の変化—都内 3 病院から
自宅退院した者への追跡調査を通して—」第 36 回日本老年社会科学会

「脳血管疾患患者の身体的・精神的・社会的健康の予後—自宅へ退院後の患者の追跡
調査から—」第 36 回日本老年社会科学会

1995 年

「被災地の高齢者を中心とした生活実態からみた課題」都市住宅学会・第 3 回学
術講演会（全国大会）ワークショップ・暮らしと住まいの再建—阪神大震災で
の経験をもとに—

「The Family's Support Function in the Well Being of Gerontology
(Roundtable Sessions)」5th Asia/Oceania Regional Congress of
Gerontology（第 5 回アジア・オセアニア 香港、Hong Kong）

1997 年

「東北農村の構造的変化と既婚女性の老親扶養意識」第 39 回日本老科社会科学会

「Elderly Attitudes toward about Family and Intergenerational Relationships;
International Comparative Survey on Life and Opinion of the Elderly」The
16th International Congress of Gerontology（第 16 回国際老年学会）

1998 年

「農村の嫁不足とアジア系外国人妻の老親扶養意識」第 40 回日本老年社会科学会

「大都市における診療所の役割と滞日外国人労働者—横浜・港町診療所の滞日外国人
調査を通して—」第 46 回日本社会福祉学会

2002 年

「農村地域における包括的ケアと介護保険サービス（1）—最上町における包括的ケ
アシステムの展開過程—」日本地域福祉学会第 16 回大会

「農村地域における包括的ケアと介護保険サービス（2）—最上町における介護保険
サービスの利用状況と課題—」日本地域福祉学会第 16 回大会

「農家後継者の高齢化・晩婚化とアジア系外国人妻の流入・生活過程」日本社会福祉
学会第 50 回記念全国大会

2005 年

「在韓日本人妻高齢者の生活暦と現在の生活状況」第 47 回日本老年社会科学会、劉

光鍾、藤田則貴と共同発表

「Elderly Attitudes toward the Relationship with their Children」『The 18th Congress of the International Association of Gerontology』（第18回国際老年学会）

2006年

「外国人配偶者・子を抱える家族の生活問題とその考察」『日本社会福祉学会第54回大会』（大会報告集）高村弘晃と共同発表

2010年

「日本における家族の変化と高齢者」東アジアにおける日中韓の国際シンポジウム、韓国・京畿道・家庭・女性研究所（韓国、水原市）

「孤立及び孤独化する高齢者家族と生活」東京経済大学学術研究センター 第3回教職員学術交流セミナー 東京経済大学

「Cross-cultural study of Elderly Attitudes toward Residence Preference.- The Relationship between Elderly Parents and Children」第19回国際老年学会（The 19th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics）ブラジル・リオデジャネイロ市

「大都市における一人暮らし高齢者と家族的支援及び地域的支援—高齢者のみ世帯の増加を背景として—」国土計画協会『人と国土21』36巻3号、18-22

2011年

「高齢者複合施設と世代間交流」『日中韓における人口問題と社会発展 国際シンポジウム』中国社会科学院日本研究所 中国・北京市

「大都市における孤立及び孤独化する高齢者と家族生活—高齢者複合施設世代間交流—」日中韓三国社会発展学術検討会 中国・煙台市

2012年

「都市と農村における高齢者の孤立化」日本老年社会学会第54大会・教育講演（長野県、佐久大学）

2013年

「Aging Farmer's Successor and the Immigration of Female Asian Spouses in Rural Japan」『The 20th IAGG Congress of Gerontology and Geriatrics』（第20回国際老年学会、韓国・ソウル市）

「在韓日本人妻高齢者と「芙蓉会」の役割」日本社会福祉学会第 61 回大会（北星学園大学、藤田則貴と共同発表）

2014 年

「在韓日本人妻高齢者と国家の福祉的役割—大陸（京城）居住女性高齢者との比較を通して—」日本社会福祉学会第 62 回大会（早稲田大学、藤田則貴と共同発表）

2015 年

「在韓日本人妻高齢者と在日韓国人女性高齢者の生活と福祉的対応」日本社会福祉学会第 63 回大会（久留米大学、藤田則貴と共同発表）

「Life-Courses of The Japanese Female Elderly Living in Korea and Social Situation by Nationalities」『International Association of Gerontology and Geriatrics』（アジア・オセアニア国際老年学会）（藤田則貴と共同発表、タイ・チェンマイ）

2016 年

「植民地時代における日本人女性の生活史と異文化交流—京城居住時代から日本への帰国者としての生活—」日本老年社会学会のワークショップ『日本と韓国の間（はざま）で生きる高齢女性（女性高齢者）のライフコース—そのアイデンティティと福祉的課題—』日本老年社会学会第 58 回大会（松山大学）

2017 年

「日本における医療・介護の制度的変化とその問題点—措置の時代から契約の時代へのなかで—」

セミナー：「医療・介護と養老（医療・介護と養老の一体化）の推進及びイノベーション」（セミナー・中国煙台市民生局、中国・韓国・日本の 3 か国による国際シンポジウム）

「Ageism in Japan: Negative and Positive」『Joint International Conference: From Ageism towards Anti-Ageism: Realities & Solutions』韓国老人人力開発院（Social Exclusion and Quality of Life of Older Persons）、韓国老年学会（KGS）、国際老年学会（IAGG）の共同開催による国際シンポジウム

7. 事典、辞典など

1977 年

『文化人類学事典』 ぎょうせい、祖父江孝男・米山俊直・野口武徳編 全文 436 頁中、担当：老人、生きがい、老人ホーム、定年などの 10 項目（330、353、370 頁）。共著者：祖父江孝男、米山俊直、野口武徳、奥山正司 他 44 名

1987 年

『改定文化人類学事典』 ぎょうせい、祖父江孝男・米山俊直・野口武徳編 全文 480 頁中、担当：生きがい、高齢者教室、高齢者事業団、定年、老人医療、老人家庭奉仕員派遣事業、老人クラブ、老人福祉センター、老齢年金、老人就労斡旋事業、老人ホームなどの 12 項目共著者：祖父江孝男、米山俊直、野口武徳、奥山正司、他 52 名

1993 年

『現代福祉学レキシコン』 雄山閣出版、京極高宣監修 全文 582 頁中、担当：老親扶養（343-344）。共著者：京極高宣、奥山正司、他 329 名

1999 年

福祉社会事典 弘文堂、庄司洋子・木下康仁・武川正吾・藤村正之編 全文 1,308 頁中、担当：「エイジズム」（66 頁）、農村の高齢者（799 頁）、嫁不足などの項目（1004 頁）。共著者：約 400 名

2002 年

社会福祉辞典 大月書店、社会福祉辞典編集委員会編 高齢化率、高齢期と家族、高齢期の同居・隣居、高齢者、日本老年学会などの項目 共著者約 300 名

8. 翻訳

1983 年

『労働の社会心理学』 白水重彦と共訳 法政大学出版局、Michael Argyle “The Social Psychology of Work” The Penguin Press, 1972：第 8 章 組織における労働、第 9 章 職務における満足、第 10 章 労働の社会心理学と労働の将来（224-326）。

1995 年

『エイジズム—優遇と偏見・差別—』 秋葉聡、片多順、松村直道と共訳 法政大学出

版局、Erdman B. Palmore “Ageism—Negative and Positive—” Springer Publishing Company, 1990：第1章 序文および基本的概念、第2章 エイジズムの形態、第3章 年齢の意味、付録A 加齢の事実をめぐるクイズ (1-65、249-256)。

9. 書評

1978 年

「中鉢正美編『家族周期と世代間扶養』『社会老年学』No. 9

1985 年

「副田義也編著『日本文化と老年世代』『社会老年学』No. 22

1993 年

「Erdman B Palmore, Ageism: Negative and Positive, Springer 1990」『社会老年学』No. 38

2007 年

「坂本忠次・住居広土編著「介護保険の経済と財政—新時代の介護保険のあり方—」『日本老年社会科学』

「金子勇著『社会調査からみた少子高齢化社会』『日本家族社会学会編『家族社会学研究』第19巻第1号』

2009 年

『暮らしをつくりかえる生活経営力』日本家政学会生活経営学部会編著 朝倉書店、日本老年社会科学会『老年科学』